

団体名：^{おおどおり}大道理をよくする会

所在地：周南市大字大道理1332（大道理夢求の里交流館内）

活動テーマ：住んでよかった、住んでみたい、訪れてみたい大道理

（活動紹介）

1 活動の目的

過疎化が進行する大道理において、住みよい地域を建設するために、地域住民が助けあいと協調を基に結集し、理想的な地域社会づくり、すなわち「高齢者に優しい地域づくり」を目指しています。

2 これまでの活動内容等

上記の目的を達成するために、4部会（互助部、経済部、交流部、自主防災部）を設け、高齢者支援や地域資源（遊休農地）を活用した、「ヒト・モノ・カネ」が好循環する仕組みづくり等に取り組んでいます。

◆もやい便（オンデマンド型自家用有償旅客運送）

地区内に金融機関や店、病院等がなく、また、北部中山間地域の経済的中心である須々万地区に向かう路線バスが運行していない中、高齢者の通院等の交通手段を確保するため、循環交通「もやい便」を運行しています。

◆便利屋

主に独居老人のお宅の簡単な修理や草刈りなど、地域住民の困りごとを解消する「便利屋」事業を実施しています。

◆高齢者サロン

「いつまでも笑顔で元気に！」をテーマに、お年寄りの健康づくりと生きがいの場として「高齢者サロン」を毎月第4水曜日（午前10時～午後4時）に開催。

高齢者に好評で、開催日拡大の要望を受け、現在では第4水曜日以外の水曜日（午後）にも、健康体操を取り入れたプログラムを実施しています。

◆大道理ほたる工房（農産物加工グループ）

総勢16名の地域の女性スタッフが、地域で収穫された野菜やお米を主な食材とした「まんかい弁当」を手作りし、地区内はもとより、10個以上の予約があれば周南市全域に配達しています。また、地区内の独居老人のお宅に弁当を配達する際には、声掛け等の見守り活動にも力を入れています。

3 活動の展望

大道理夢求の里交流館を活動の拠点とし、地区内外の様々な団体、学校との連携を推進する事により、大道理ならではの隠れた魅力の発掘に努め、地域資源としての活用へと結びつけてまいります。



徳山高専との連携事業（ピザ窯づくり）



大道理へ移住したマンガ村の若者